水に沈むトマト（左）は味が濃くておいしい

キュウリ	歯切れがよい みずみずしい
トマト	味が濃い 甘い 肉質がしっかり
カボチャ	ほくほくする うまみがある 甘い
トウモロコシ	甘い うまみがある
ホウレンソウ	あくがない やわらかい 甘い
ニンジン	甘い よい香り うまみがある

堆肥で育てた野菜についての消費者の評価

濃い」「甘い」「果肉がしっかりしている」と評価しました。トウモロコシでは「甘い」「うまみがある」、ホウレンソウでは「あくがない」「やわらかい」などです。

和田さんや循環システム研究会の土づくりの努力は、甘さや味の濃さ、やわらかさなどとなって消費者に確実に評価されているといえます。しかし、それは、普通の食品の甘さや味の濃さ、やわらかさと違い、「土から野菜へ」という「自然の元気印のつながり」が生み出してくれるものであることが重要です。

■ 土から花に、花から実に、元気印のつながり

キュウリでもトマトでも、品質がよくおいしくなるのは、花のときから元気だからです。前頁下の写真のように、花と幼い果実がまっすぐな毛でいっぱいにおおわれているのが元気な印。また、イボがキュウリの先にかたよらず中ほどについているものは、タネがまんべんなくできて、味が濃くておいしく、形もよくなる素質を持っています。

タネのできが悪いと、キュウリが曲がったり、トマトの子室に空洞ができたりしますが、これは窒素が効きすぎるなどして、野菜が元気喪失してしまったときに起こります。土壌中の養分の過不足がある場合のほか、土中の水と空気がじゅうぶんでなかったり、根が傷んで力がなかったりした場合に、養分吸収にアンバランスが出ます。

良質堆肥の施用は、土の養分の保持・供給力を高め、植物に吸われにくいリン酸などの養分を吸収されやすくしてくれます。また、元気な根が伸びて、活発に水と養分を吸収できる環境をつくります。これが、元気な花、おいしい果実を育てる源です。

子室がきれいに並び、タネが多くゼリーでいっぱいのトマト（左）がおいしい